

庁舎移転先はどうなるか

検討委員会の決定を尊重する

／本庁総務課長



議員 竹下 芙佐雄

問

① 役場移転先に有井川シーサイドホーム付近や上川口王迎団地付近も候補に上がっているが、このいずれに決まっても移転するものと考えてよいか。

② 国道56号改良に伴う庁舎移転の保障はどうなっているか。

答

植田 壯 本庁総務課長

① 検討委員会を二十四人で立ち上げ、これまで三回の検討を重ねてきたが、もし両地

区のいずれかに決まっても検討委員会の決定は尊重しなければならぬと考えている。

② 早咲地区から現庁舎までの調査に時間を多く要するため、庁舎移転の補償内容や補償金は、まだ定示されていない。

③ 庁舎改築に伴う見積りにしてもまだ概算事業費を出すまでに至っていない。

国道改良で安全が

保障されるか

歩道の整備が必要

／大方まちづくり課長

問

① 国道改良が入野地区住民や商工関係者に与える負担を考えたことはあるか。

答

松田博和 大方まちづくり課長

⑤ 高規格道路がつけばバイパスは必要ではなくなるがどうなっているか。

① 国道沿いの商店への影響は全くないというふうには考えてないが、完全分離を行なうよりは影響が少ないと考える。

② 安全性についてこれまで約十年間に改良区間内で八人の方が亡くなられた。歩道があれば防げた事故の事例があり、基本的には歩道の整備は

必要と考える。

③ サンシャインへの影響は少ないものと考えている。

④ 町道潘下線は少し西に両側に歩道を完備した計画で新設することになっている。

⑤ 高規格道路については佐

賀中角から四万十市までの区間は、基本計画区間にはなっているが、まだルート公表がない。

今後はこの区間の早期整備が進むよう取り組んでいきたい。

